





## コロナ禍の事業展開

公益社団法人 日本学校歯科医会 専務理事 長沼 善美



日頃から日本学校歯科医会の会務にご理解とご協力いただき感謝 申し上げます。Web併用の会議にも慣れてきましたが、モニター画 面を視ているのも2時間が限度なのは歳のせいでしょうか。

新型コロナウイルス感染症感染防止措置のため、多くの事業(大会) が中止または縮小された中にあっても、公益社団法人としての1年目 の決算では、令和3年度公益目的事業比率は80%を超えるなど、本 会は創意工夫した事業展開を図り、公益3基準もクリアしました。令和 4年度事業についても事業計画どおり着々と進めております。

新型コロナウイルス感染症も変異を繰り返して、なかなか感染者数 は減ってきませんが、世界的に見ても、重症者や死亡者数の増加が なければ社会経済を回す方向にシフトし始めました。つまり経済が停 滞するほうがより深刻なのでしょうか。

学校においても、持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障 していくため、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、 学校閉鎖をせずに学級閉鎖にとどめ、できるだけ登校させる方針のよ うであります。学校行事や部活動も通常に戻りつつあります。給食後 の歯みがき等の学校歯科保健活動も同様に願いたいと考えます。

今年の第86回全国学校歯科保健研究大会は山梨県甲府市で行われ、このままの感染状況であれば、会場・Web併用開催となり、意見交換会も予定されています。山梨県といえば、ブドウなどの果物や美味しいワインが楽しみでありますが、「日本一の渓谷美」と言われる昇仙峡などでは、紅葉の見頃が近い時期ではないでしょうか。「日本一」と言えば、山梨県側の本栖湖から見た富士山が千円札に描かれていますが、湖に映る逆さ富士と紅葉も絶景なことでしょう。また、武田信玄の隠れ湯も多く点在しています。

ぜひ、魅力的な山梨県で行われる全国学校歯科保健研究大会にご 参加いただき、久しぶりに全国の学校歯科保健関係者(旧友)とま たお会いできることを楽しみにしております。

## つづきは会員専用ページで ご覧いただけます。

